

## (6) 令和元年度上期水道事業の概況

### ア 建設事業の状況

給水区域内の安定供給を図るため、塩化ビニル管をはじめとする老朽管の布設替工事は、江戸川台西3丁目地先ほかで改良工事20件を実施している。また、未給水区域の解消を図るため、大字中野久木地先ほかで配水管拡張工事4件を実施している。さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業3地区で配水管拡張工事6件を実施している。

### イ 業務の状況

当期の給水人口は192,527人で、前年同期に比べ6,029人(3.23%)の増加があった。

給水量は9,215,878 $\text{m}^3$ で、前年同期に比べ133,731 $\text{m}^3$ (1.47%)の増となった。

なお、1日最大給水量は、54,230 $\text{m}^3$ で、前年同期に比べ513 $\text{m}^3$ (0.94%)の減となっている。

### ウ 経理の状況

上期における総収益は、2,037,856,232円で、前年同期と比べ186,212,530円の減額となった。総費用は、1,951,335,703円で、前年同期に比べ515,248,331円の増額となった。税抜きによる総収益1,898,724,685円から総費用1,895,023,457円を差し引いた当期の損益は、3,701,228円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が1,613,948,148円で前年同期に比べ16,186,698円(1.01%)の増収となった。このほか、営業外収益は423,908,084円で、前年同期に比べ202,388,508円(32.3%)の減収となった。

次に、費用の内訳では、営業費用が1,373,479,605円で前年同期に比べ20,487,632円(1.51%)の増額となった。このほか、営業外費用は577,148,146円で、前年

同期に比べ494,731,617円(600.28%)の増額  
となった。